

新しいものに挑戦

佐栄建設事業協組が
専門工事経営者研修

佐藤工業の中核的な専門工事会社でつくる佐栄建設事業協同組合（廣井秀賢理事長）は19日、東京都墨田区の東武ホテルレバント東京で、専門工事業経営者研修会を開いた。写真。

廣井理事長は、「長い伝統のもと、専門工事会社は、どこにも負けないところを必ず持っている。それをもととして、新しいものに挑戦していかなければならない」とあいさつした。来賓の宮本雅文佐藤工業社長は「今期の方針である『フロントローディング・オペレーション』の実行について、営業段階の徹底し

た検証、検討をいま以上に求めて、最終的に受注と利益のバランスがうまくとれた総合力を持つ会社を目指したい」と述べるとともに、日々の安全衛生活動の徹底を求めた。



中小企業診断士で1級建築士の藤原一夫氏が「中小建設業経営戦略としての現場の原価管理の重要性および後継者問題」、関係性開発協会の川添香、木越省吾、前田典子の3理事が「世代をつなぐコミュニケーション」をテーマに講演した。